

## 石西礁湖サンゴ礁基金の活動について

特定非営利活動法人 石西礁湖サンゴ礁基金

石西礁湖サンゴ礁基金は、当初、石西礁湖自然再生協議会の中に設けられ、活動を拡大するため、平成 25 年 5 月 21 日、特定非営利活動法人となりました。他の自然再生協議会メンバーと協力し、全体構想に挙げられた課題を事業の範囲として、活動しています。

(発足以降の経過については、第 20 回協議会資料を参照してください。)

[http://sekiseisyouko.com/szn/pdf/kyougikai/kyougikai20/k09\\_4.pdf](http://sekiseisyouko.com/szn/pdf/kyougikai/kyougikai20/k09_4.pdf) )

第 20 回協議会（平成 29 年 2 月 19 日）以降の活動を紹介します。

(28 年度までの事業については、基金 HP「NPO 法人について」のページの「事業報告・決算報告」に掲載しています。 <http://www.strata.jp/sangokikin/about.html> )

## 1 農地からの赤土流出防止のための農家支援

過去 4 年度に引き続き、沖縄県赤土等流出防止活動支援事業補助金を受けて実施

## (1) サトウキビ夏植えの畑でのサブソイラ作業料支援

夏植え 1 年目は畑表面を作物が覆う面積が小さく、赤土流出の原因となっている。サブソイラーは、溝を切ることにより雨水等の地下浸透を促進し、畑表面からの流出を防ぐ作業機。

29 年 11 月、12 月に実施済 14 圃場 700 a

## (2) サトウキビ株出し推進のための株管理機作業料・堆肥支援

サトウキビの株出し栽培は、収穫後の畑が葉ガラに覆われ、耕さないため、赤土流出を大幅に減らすことができる。旧基金発足時から推進してきた。

株管理機は農家の作業負担を大幅に軽減する作業機、堆肥投入は地力を増進し株出しの効果を高める。

2 月現在、実施中

## 2 オニヒトデ駆除 今年度実施は未定

## 3 環境教育

27 年度までは、補助金・助成金を受けて、直接実施してきたが、前年に続き、協議会メンバーに助成金を支出する形でも実施した。

## (1) 高校生に対する赤土問題についての授業

外部講師を招き、沖縄県赤土等流出防止活動支援事業補助金の助成を受けて実施

・平成 28 年度 29 年 2 月に 2 校で実施 実験及び講義

・平成 29 年度 30 年 2 月に 3 校で実施予定 実験及び講義（1 校は講義のみ）

## (2) 中学生に対する生物多様性の授業

エコツアーふくみみを実施

1 校 外来生物と固有種、生態系、15 年後の自分と地域の自然 等

#### 4 広報啓発事業

##### (1) 地域のイベントへの参加

「みなとまつり」は実行委員会の一員となり、「石垣島まつり」は関連イベントに申し込んで、ブースを開いている。

- ・みなとまつり 29年7月17日
- ・石垣島まつり 28年11月4,5日

##### (2) 畑と海をつなぐサンゴのまつり

27年度（28年）からサンゴの日の頃に、地元公民館などと協力して開催している。

- ・28年度 29年3月5日

関係団体：

共催：石西礁湖サンゴ礁基金、崎枝公民館

石垣島を元気にするプロジェクト（芝浦工業大学学生）

協力：環境省石垣自然保護官事務所

後援：石垣市赤土等流出防止営農対策地域協議会

その他の協力者：八重山農林高校グリーンライフ科

趣旨：赤土流出の少ないサトウキビ株出しの畑での補植と、赤土流出をおさえるひまわりの種まきを体験することで、畑と海がつながっていることを実感してもらう。

また、展示等を通じて、サンゴ礁をはじめとする地域の環境に関心を持ってもらう。

- ・29年度 30年3月4日（日）に開催予定

関係団体、実施内容は、28年度と同様。サンゴ礁ウィーク及び国際サンゴ礁年2018の登録イベントとして実施。

#### 5 サンゴ認定

WWF ジャパンと協働して、サンゴ礁保全を目的とするサンゴ認定制度の調査・検討を行っている。

サンゴ認定は、サンゴ礁保全につながる活動を行っている事業者等を認定し、サンゴ礁保全に向かう社会の形成を目指すもの。

関係者へのヒアリングに参加、意見交換会共催（平成29年6月3日）

#### 6 その他

石垣島マラソンは、サンゴ礁保護活動応援のための募金活動を行っている。今回も、石西礁湖サンゴ礁基金が前3年度に続き担当した。

30年1月27,28日実施

（文責：鷲尾雅久）